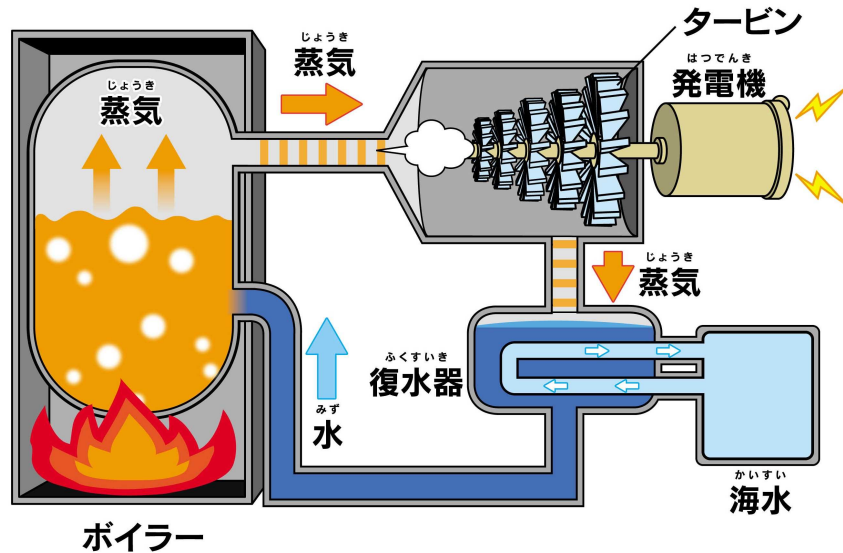


いろいろな発電方法①

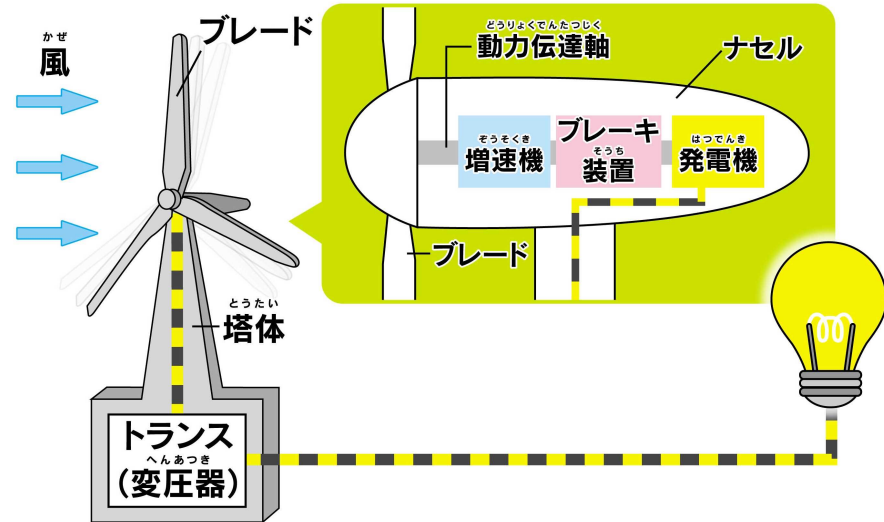
火力発電の仕組み



石油・石炭や液化天然ガス(LNG)などを燃やして、蒸気タービンを回転させ、その力で発電します。

その後の蒸気は、復水器で冷やされて水に戻り、またボイラー内に送られて蒸気へと変わるといった動きをくり返します。復水器に入ってきた蒸気を冷やすために大量の水が必要なため、火力発電所は比較的海に近い場所に設置されています。

風力発電の仕組み



風力発電機の上部に付いている「ブレード」と呼ばれる羽の部分に風が当たると、「ブレード」が回転し、その回転が「動力伝達軸」を通じて「ナセル」と呼ばれる装置の中にある「発電機」を回転させて電気に変換しているのです。台風など強い風だと発電機が壊れることもあるのでブレーキ装置もついています。